

生きるくせに、死んでんじゃねえよ。



二宮慶多 水野哲志 奥村門土 中島セナ  
佐々木蔵之介 工藤夕貴 池松壮亮 初音映莉子  
村上淳 西田尚美 佐野史郎 菊地凜子 永瀬正敏  
脚本・監督 長久允



『サンダンス映画祭グランプリ受賞監督初長編作品』

# 超音楽冒険RPGムービー、完成(なにそれ)

LITTLE ZOMBIES

サンダンス映画祭グランプリ監督と、感情をなくした4人の13歳  
2019年、新時代の才能による、映画革命



2017年、第33回サンダンス映画祭(ショートフィルム部門)にて、日本映画初のグランプリを獲得した監督・長久允。グランプリ作『そうして私たちはプールに金魚を。』は“ネオジャパニーズ”と称され、タランティーノ(『キル・ビル』)やデミアン・チャゼル(『ラ・ラ・ランド』)といったフィルムメーカーを生んだ地で、圧倒的な存在感を放った――

そんな新時代の才能が、満を持して長編デビューを果たす!

キャストに、『そして父になる』にて福山雅治の息子役を演じた二宮廣多。テレビCMや『クワ野郎と美しい世界』での好演も記憶に新しい中島セナ。ドラマ『嘘の戦争』の水野哲志。天才似顔絵師として話題の奥村土士。4人の新しい才能の発揮により、瑞々しくもかつてない少年少女像が誕生した。

また、佐々木蔵之介、永瀬正敏、菊地凜子、池松壮亮などの日本を代表する豪華名優たちも、監督の才能に共感し大集結。

クリエイティブチームは、グローバルに活躍する一線級のクリエイター陣。劇中バンド“LITTLE ZOMBIES”の音楽は、ブルックリンに拠点を置くLOVE SPREADがエシポップな楽曲を提供。創造性豊かな衣装はwrittenafterwardsの山根良和。ヘアメイクにハイブランドのランウェイを手がける加茂克也。美術セットのアートワークには大物ミュージシャンのステージへも作品提供するアーティストユニットmagmaが参加。

「両親が死んでも涙が流れない」

まるでゾンビのように感情を失った少年少女たち。音楽バンド“LITTLE ZOMBIES”を結成した彼らは、やがて子想もしい運命に翻弄されていく――

過去に存在するどんな映画表現にも当てはまらない感覚。2019年、イマジネーションを刺激するまったく新しいカルチャーが誕生する!



脚本 監督

長久 允

『そうして私たちはプールに金魚を。』  
(サンダンス映画祭短編部門グランプリ)

出演

二宮廣多 水野哲志 奥村土士 中島セナ

佐々木蔵之介 工藤夕貴 池松壮亮 初音映莉子  
村上淳 西田尚美 佐野史郎 菊地凜子 永瀬正敏

<登場順> 康本雅子 夏木ゆたか 利重剛 五月女ケイ子 山中崇 佐藤銀美  
水澤紳吾 黒田大輔 忍成修吾 長塚圭史 池谷のぶえ 成井昭人 赤塚雅歌  
清塚信也 山田真歩 湯川ひな 松浦祐也 萩川清彦 かっぴー いたうせいこ  
CHAI 菊地成孔 森田哲矢 (さらば青春の光) 吉木りさ (声) 柳憂怜 三浦誠己

プロデューサー: 山西大平 / 高橋信一 / 横山治己 / 長谷川晴彦 ラインプロデューサー: 鈴木康生 / 小柳智剛 アソシエイトプロデューサー: 園枝礼子 / 橋佑香里 / 熊澤瑞里  
撮影: 武田浩明 照明: 前島祐祐 サウンドデザイン: 沖田鏡之介 美術: 栗林由紀子 装飾: 渡辺音康 衣裳: 下山さつき ヘアメイク: 光野ひとみ 助監督: 平井淳史  
キャスト: 田端利江 スクリプター: 大西峻子 演出補: 長田亮 制作担当: 宮森隆介 編集: 高本典雄 カラリスト: 根本恒夫 VFX: スーパーバイザー: 二瀬具洋  
音楽プロデューサー: 山田勝也 リトルゾンビーズ音楽: LOVE SPREAD リトルゾンビーズ衣裳: writtenafterwards リトルゾンビーズメイク: 加茂克也 アートワーク: magma  
製作幹事: 電通 配給: 日活 制作プロダクション: ROBOT 特別協賛: フェイスマスク ルルルン / グライド・エンタープライズ ©2019 “WE ARE LITTLE ZOMBIES” FILM PARTNERS

# 2019.06 ROADSHOW!